

2014年6月2日

報道関係各位

東京都市大学 子育て支援センター「ぴっぴ」開設10周年 利用者数 23万人を突破

東京都市大学 人間科学部



東京都市大学（東京都世田谷区、学長：北澤 宏一）子育て支援センター「ぴっぴ」（等々力キャンパス）は、2014年5月31日に利用者数23万人を突破し、6月1日に10周年を迎えました。（2014年5月31日現在の利用者述べ数230,035人）

「ぴっぴ」は、2004年に地域の子育てを支援するためにキャンパス内に設置されました。子どもたちにとっては楽しい遊び場として、保護者にとっては子育てについて話し合えるコミュニケーションの場として広く地域の皆様に親しまれ、毎日100名前後の親子にご利用いただいています。

また、本学 人間科学部 児童学科で学ぶ学生の「生きた」学びの場として実習を行っており、常駐する保育士のもと、その仕事ぶりを間近で体験したり、保護者とのふれあいを深めたり、様々な実体験を通じて子育て支援を学んでいます。

今後も「ぴっぴ」では皆様に信頼される施設として、親子の声に耳を傾けながら、より一層の発展を目指してまいります。

東京都市大学 子育て支援センター「ぴっぴ」の施設概要は下記の通りです。

東京都市大学 子育て支援センター「ぴっぴ」概要

- 施設名称：東京都市大学 子育て支援センター「ぴっぴ」
- 開設日：2004年6月1日
- 設置場所：東京都市大学等々力キャンパス3号館2階
- アクセス：東急大井町線「等々力」駅下車約10分
- 開館時間：平日 10時00分～16時00分
土曜 10時00分～13時00分
- 休館日：日曜、祝日、学内行事日、8月の大学休業中 他
- 利用料金：1日1家族200円（保険料・維持費込）※2014年6月現在
- 利用者：乳幼児（入学前のお子様）とその保護者
- ホームページ：<http://www.tc.tcu.ac.jp/pippi/>

東京都市大学 人間科学部児童学科 概要

- 実践力と専門性を備える高度な保育者・教育者を養成

児童学科では、子どもたちが「体験」から学ぶように、保育者も体験から実践力を身につけ、以下の4つの「体験プログラム」を通して、理論だけでなく「保育力」を育てています。

(1) 「子育て支援体験」

キャンパス内の子育て支援センター「ぴっぴ」で子どもとの触れ合いと、保護者とのコミュニケーションを通して学ぶ。

(2) 「生活と自然体験」

農業体験用畑で土づくりから収穫、調理までを行い、山梨県八ヶ岳の自然のなかで宿泊研修を行う。

(3) 「異文化理解体験」

ニュージーランドで保育教育実習を行う。

(4) 「児童文化・自己表現体験」

多目的施設「スタジオ・シアター」で児童演劇鑑賞や作品の創作・上演を行う。



- 児童学科在籍者数：438名（男女比率 男15%：女85%）

～本件に関するお問い合わせ先～
東京都市大学 人間科学部児童学科 教授
小川 清美
TEL:03-5760-0104（代表）
ogawak@tcu.ac.jp